第7回 漢方生薬ソムリエ(初級)認定試験 試験問題

試験日程: 令和3年10月10日

注意事項の説明:12:45~13:00(15分)

試験(筆記及び鑑定):13:00~15:00(120分)

退席可能時間:14:00~14:45

受験上の注意

1. 試験問題冊子は監督者の指示があるまで開かないでください。

- 2. 問題冊子、筆記試験解答用紙、鑑定試験解答用紙、各1部ずつ配布します。
- 3. 試験開始前に解答用紙に氏名を正しく記入してください。
- 4. 試験開始後、直ちに問題冊子に落丁がないか確認してください。表紙を含め全 16 ページです。
- 5. 筆記試験問題の出題数は全部で80 間で、全て5択問題です。解答用紙に正解の番号を記してください。
- 6. 鑑定試験は1人10分です。指示に従って場所を移動して鑑定試験を受けて下さい。
- 7. 鑑定試験の生薬は 20 種類です。解答の記入は鑑定試験時間後、着席してからでも結構です。
- 8. 試験問題はお持ち帰りください。
- 9. 試験中は監督者の指示に従って下さい。

設問の注意

- 1. 令和3年10月現在、第十八改正日本薬局方が公示されていますが、本試験の設問では、 「追補」を含め第十七改正日本薬局方の内容に従っています。
- 2. 設問の解答は、日本薬局方に収載されている範囲内とします。
- 3. 日本薬局方の条文では、生薬名はカタカナで表記されますが、設問では漢字表記もあります。但し、生薬名の英語又はラテン語表記の知識を問う問題はこの限りではありません。



日本漢方生薬ソムリエ協会

Japan Kampo Shoyaku Sommelier Association

問	(1)	顕微鏡で観察した際にデンプン粒が確認できない生薬はどれか。
1	甘草	
2	木香	
3	当帰	

- ④ 鬱金
- ⑤ コロンボ
- 間(2)顕微鏡で観察した際に気孔が確認できない生薬はどれか。
- ① マオウ
- ② ジュウヤク
- ③ シゴカ
- ④ インヨウカク
- ⑤ アマチャ
- 問(3)原植物が属する科が異なる生薬はどれか。
- ① ホミカ
- ② センナ
- ③ ソボク
- ④ アラビアゴム
- ⑤ オウギ
- 問(4)単子葉植物綱に属する科(Family)はどれか。
- ① Ranunculaceae
- ② Lardizabalaceae
- 3 Menispermaceae
- 4 Zingiberaceae
- (5) Araliaceae
- 問(5)次に挙げる生薬の中で、原植物の花の色が他の4種と異なるものはどれか。
- ① Bitter Orange Peel
- 2 Coptis Rhizome
- 3 Leonurus Herb
- 4 Cnidium Rhizome
- **⑤** Cimicifuga Rhizome
- 問(6)山梔子の原植物について、正しい記載はどれか
- ① 花は淡紅色である
- ② 花は黄色い
- ③ 花ははじめ黄色くて後に淡紅色になる
- ④ 花ははじめ黄色くて後に白くなる
- ⑤ 花ははじめ白くて後に黄色くなる

- 問(7) 枳実と枳殼について、正しい記載はどれか
- ① 薬効は全く異なる
- ② 原植物が異なる
- ③ 敢えて使い分ける必要は無い
- ④ 薬効は枳実の方が鋭い
- ⑤ 原形は枳実の方が大型である
- 問(8)ハマスゲとハナスゲに関する記載で正しいものはどれか。
- ① ともに原植物は同じ科に属する
- ② ともに薬用部位は地下部である。
- ③ 後者は前者の異名である。
- ④ 両者は同じような環境に生える。
- ⑤ ともに日本に自生する。
- 問(9)ベニバナの種子の色は何色か
- ① 白色
- ② 褐色
- ③ 黒褐色
- ④ 黄色
- ⑤ 赤紫色
- 問(10)薬用には夏の土用に採集するのが適しているとされる生薬はどれか。
- ① センブリ
- ② ジュウヤク
- ③ ニンジン
- ④ レンギョウ
- ⑤ サンシュユ
- 問(11)食用にもなる薬用植物はどれか。
- ① Benincasa cerifera Savi
- 2 Polyporus umbellatus Fries
- ③ Sinomenium acutum Rehder et Wilson
- ④ Caesalpinia sappan L.
- (5) Asiasarum sieboldii F. Maekawa
- 問(12)以下に示す生薬の中で、保存の際に比較的虫害を受けにくい生薬はどれか
- ① ダイオウ
- ② ウイキョウ
- ③ ニンジン
- ④ トウキ
- ⑤ ブシ

- 問(13)写真に示す植物は何れの生薬の幼苗か。
- ① RHEI RHIZOMA
- ② BEZOAR BOVIS
- ③ MENTHAE FOLIUM
- **4) PHARBITIDIS SEMEN**
- **⑤** HOUTTYNIAE HERBA
- 問(14)写真に示す植物は何れの生薬の幼苗か。
- ① 附子
- ② 香附子
- ③ 半夏
- ④ 益智
- ⑤ 縮砂
- 問(15)次の生薬の中で、蜜炙加工を行うことがあるものはどれか。
- ① RHEI THIZOMA
- ② CITRI UNSHU PERICARPIUM
- ③ SOPHORAE RADIX
- **4** PINELLIAE TUBER
- **⑤** EPHEDRAE HERBA
- 問(16)水蒸気蒸留で製造される精油はどれか。
- ① オレンジ油
- ② オリーブ油
- ③ ナタネ油
- ④ ゴマ油
- ⑤ チョウジ油
- 問(17) ジギタリスは近年取り入れられ始めた APG 分類では何科に属するか。
- ① オオバコ科
- ② ゴマノハグサ科
- ③ ジギタリス科
- ④ シソ科
- ⑤ ゴマ科
- 問(18) 葉に明瞭な3脈が観察される植物はどれか。
- ① カラスビシャク
- ② コカ
- ③ テンダイウヤク
- ④ クワ
- ⑤ キカラスウリ





- 問(19)シナカラスウリの花を7月に撮影した。撮影時間はいつごろか。
- ① 5時
- ② 9時
- ③ 12 時
- ④ 15 時
- ⑤ 18 時



- 問(20) 栽培時に種子を用いず、専ら株分けで苗を生産している生薬はどれか。
- ① 白芷
- ② 黄連
- ③ 川芎
- ④ 防風
- ⑤ 射干
- 問(21)日局に「本品は扁球形又は球形を呈し、径2~5 mm である。外面は暗褐色~灰褐色で、油室による多数のくぼんだ小点がある。(中略)本品は特異なにおいがあり、味は辛く、後に残留性の苦味がある。」と記載された生薬は何か。
- ① Schisandra fruit
- ② Burdock fruit
- 3 Euodia Fruit
- ④ Apricot Kernel
- ⑤ Fennel
- 問(22) 日局に「本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ペリルアルデヒド 0.08% 以上を含む。」と規定された生薬は何か。
- ① ソヨウ
- ② ビャクシ
- ③ ロジン
- ④ ケツメイシ
- ⑤ アセンヤク
- 問(23)日局に「本品は定量するとき、製法の項に規定した分量で製したエキス当たり、ペオニフロリン($C_{23}H_{28}O_{11}$:480.46) 50~150 mg 及びグリチルリチン酸($C_{42}H_{62}O_{16}$:822.93) 50~150 mg を含む。」と記載された漢方薬エキス剤は何か。
- ① 葛根湯
- ② 柴胡加龍骨牡蠣湯
- ③ 芍薬甘草湯
- ④ 桂枝茯苓丸
- ⑤ 八味地黄丸

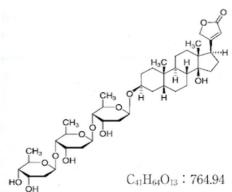
問(24)写真の中で特定外来植物オオキンケイギクとと もに生えている薬用植物は何か。

- ① Houttuynia cordata
- 2 Chrysanthemum morifolium
- ③ Cyperus rotundus
- 4 Hordeum vulgare
- ⑤ Imperata cylindrica



問(25)右図に示す化学構造の薬効は何か

- ① 瀉下
- ② 緩和
- ③ 鎮痛・鎮痙
- ④ 強心
- ⑤ 止瀉



問(26)右図に示す化合物を最も多く含有する生薬はどれか

- ① CASSIAE SEMEN
- ② RHEI RHIZOMA
- ③ ALOE PULVERATA
- **4) ROSAE FRUCTUS**
- ⑤ GAMBIR

問(27) ゲンノショウコに関して正しい記載はどれか。

- ① 花の色には赤、白、黄色などの変異がある。
- ② 和名は「幻の証拠」に由来するとされる。
- ③ 花弁は6枚である。
- ④ 花後に丸い果実がつく。
- ⑤ 園芸植物のゼラニウムと同じ科に分類される。

問(28) ニンジンに関する記載文で、正しいものは何れか。

- ① 人参サポニンは同属植物にしかない特有な化学成分である。
- ② 糖参は砂糖で加工したものではなく、とくに甘味の強いものを言う。
- ③ 白参と紅参の原植物は同属の別植物である。
- ④ サポニンは6年生の太いもよりもヒゲ人参の方が多い。
- ⑤ 御種人参は人参の小苗を意味する。

- 問(29)トウキに関して、実在しない名称は何れか。
- ① 大深当帰
- ② 信州当帰
- ③ 馬尾当帰
- ④ 当帰頭
- ⑤ 当帰尾
- 間(30) ローヤルゼリーに関する記載の中で、間違っているものはどれか。
- ① 本品には、収れん性の酸味がある。
- ② ローヤルゼリーは、外敵の進入を防ぐために、巣箱の外側に作られる樹脂である。
- ③ ローヤルゼリーは、ミツバチの頭部にある分泌線から分泌される粘稠性のある液またはそれを 乾燥したものである。
- ④ ローヤルゼリーには、10-ヒドロキシ-2- (*E*) デセン酸 4.0~8.0%を含む。
- ⑤ 本品を貯蔵するには、気密容器を用い、10℃以下で保存する。
- 問(31)写真に示す植物の薬用部位はどこか。
- ① 管状花
- ② 種子
- ③ 果実
- ④根茎
- ⑤ 根



- 間(32)次の生薬と日局確認指標成分の組み合わせで、間違っているものはどれか。
- ① 淫羊藿/イカリイン
- ② 桂皮/ケイヒアルデヒド
- ③ 柴胡/サイコサポニン a
- ④ 五味子/ゴミシン A
- ⑤ 乾姜/6-ショーガオール
- 問(33)生薬加工調製の際行われる硫黄燻蒸の目的として、間違っているのはどれか。
- ① 漂白
- ② 防虫
- ③ 非薬用部位の選別除去を容易にする
- ④ 保存性向上
- ⑤ 外面色を鮮やかにする

- 問(34)次の生薬のうち、日局で含有するアルカロイド成分の定量が規定されているものはどれか。
- ① 厚朴
- ② 吐根
- ③ 苦参
- ④ 檳榔子
- ⑤ 牡丹皮
- 問(35) 当帰と川芎の共通点を記載した。間違っているものはどれか。
- ① 原植物はセリ科植物である。
- ② 婦人科疾患に応用する。
- ③ 薬用部位は根である。
- ④ 当帰芍薬散に配合される。
- ⑤ 精油成分の ligustilide を含む。
- 問(36)生薬の原植物が、同属植物でない組み合わせはどれか。
- ① 天門冬と麦門冬
- ② 桃仁と杏仁
- ③ 枸杞子と地骨皮
- ④ 蒼朮と白朮
- ⑤ 鬱金と莪朮
- 問(37) 日局収載生薬の生薬ラテン名を記した。間違っているものはどれか。
- ① Uncariae Uncis cum Ramulus
- 2 Magnoliae Flos
- ③ Tribuli Fructus
- 4 Lithospermi Radix
- ⑤ Hydrangeae Folium
- 問(38)以下に示す5種の薬用植物の中で、所属する科が異なるものはどれか。
- ① Cornus officinalis
- ② Coptis chinensis
- ③ Cimicifuga dahurica
- 4 Aconitum carmichaeli
- (5) Clematis mandshurica

- 問(39) 共通点のある4種類の生薬を並べた。間違った組み合わせはどれか。
- ① 瀉下薬とする生薬 (大黄・センナ・決明子・アロエ)
- ② 修治することがある生薬 (黄耆・人参・甘草・地黄)
- ③ 木本植物に由来する生薬(桜皮・牡丹皮・アカメガシワ・黄柏)
- ④ Iridoid 化合物を含有する生薬(地黄・杜仲・肉蓯蓉・キササゲ)
- ⑤ ナス科植物に由来する生薬 (ベラドンナ・ロート根・トウガシ・地骨皮)
- 間(40)次の栽培に関する記載のうち、間違っているものはどれか。
- ① 紅花は主に中国から輸入され、日本でも山形県で少量栽培されている。
- ② センブリは長野、高知などの各県で栽培され、一部中国産も輸入されている。
- ③ 日局当帰は日本各所で栽培されているが、近年中国でも日局当帰の栽培が行われている。
- ④ 山椒は奈良県や和歌山県などで栽培が行われ、一部中国産も輸入され同様に用いられている。
- ⑤ 人参は日本や中国、韓国で栽培されており、中国では吉林省や黒竜江省などといった東北部と 呼ばれる地域が主産地である。
- 問(41) 釣藤鈎の原植物に関して以下の記述のうち日本薬局方上正しいのはどれか。
- ① Uncaria rhynchophylla & Uncaria gambir。
- 2 Uncaria rhynchophylla & Uncaria sinensis .
- ③ Uncaria rhynchophylla と Uncaria macrophylla 。
- 4 Uncaria rhynchophylla & Uncaria sinensis & Uncaria gambir.
- ⑤ Uncaria rhynchophylla と Uncaria sinensis と Uncaria macrophylla 。
- 問(42)芍薬の原植物に関して以下の記述のうち日本薬局方上正しいのはどれか。
- ① Paeonia suffruticosa のみ。
- 2 Paeonia lactiflora O.A.
- ③ Paeonia veitchii のみ。
- 4 Paeonia suffruticosa & Paeonia lactiflora
- ⑤ Paeonia suffruticosa と Paeonia lactiflora と Paeonia veitchii 。
- 問(43)日本薬局方では生薬の乾燥温度が決められている。正しい温度はどれか。
- ① 90℃以下
- ② 80℃以下
- ③ 70℃以下
- ④ 60℃以下
- ⑤ 50℃以下

問(44)ユウタンは Ursus arctos Linné 又はその他近縁動物(Ursidae)の胆汁を乾燥したものである。非常に貴重な資源であり、高価であることから、異物の混入が懸念され、(成分名1) や (成分名2) の薄層クロマトグラフ法による純度試験が設定されている。成分名1と成分名2の組み合わせで正しいものはどれか。

タウロウルソデオキシコール酸 ウシ胆汁粉末
ウルソデオキシコール酸 ウシ胆汁粉末
グリココール酸ナトリウム ウシ胆汁粉末
タウロウルソデオキシコール酸 ブタ胆汁粉末
グリココール酸ナトリウム ブタ胆汁粉末

- 問(45) 竜骨の記載として間違っているものはどれか。
- ① 大型哺乳動物の化石化した骨である。
- ② 本品は不定形の塊、または破片で、ときには円柱状の塊である。
- ③ 主に炭酸カルシウムからなる。
- ④ 本品をなめるとき舌に強く吸着する。
- ⑤ 本品は、特異なにおいがあり、味はわずかに辛い。
- 問(46)生薬総則の条文で間違っているものはどれか。
- ① 生薬は、通例、全形生薬、切断生薬又は粉末生薬に分けて取り扱う。
- ② 粉末生薬のうち、別に規定するものについては賦形剤を加え、含量又は力価を調節することができる。
- ③ 生薬は、かび、昆虫又は他の動物による汚損物又は混在物及びその他の異物をできるだけ除いたものであり、清潔かつ衛生的に取り扱う。
- ④ 粉末生薬は、全形又は切断生薬を粗末、中末、又は細末としたものであり、通例、細末としたものについて医薬品各条に規定する。
- ⑤ 生薬に用いる容器は、別に規定するもののほか、密閉容器 とする.
- 問(47)日局の確認試験でヨー素試液を使用しない生薬はどれか。
- ① ブクリョウ
- ② 山薬
- ③ 粳米
- ④ ヨクイニン
- ⑤ 麦芽
- ① 種子
- ② 果実
- ③ 果穂
- 4) 胚乳
- ⑤ 胚芽

- 間(49)口にした際に辛味を感じない生薬はどれか。
- ① EUODIAE FRUCTUS
- ② ZANTHOXYLI FRUCTUS
- ③ CINNAMOMI CORTEX
- **4** CIMICIFUGAE RHIZOMA
- (5) ZINGIBERIS RHIZOMA
- 問(50)右の写真に示す薬用植物は何か
- ① Crataegus pinnatifida var. major
- ② Cornus officinalis
- ③ Schisandra chinensis
- (4) Rosa multiflora
- ⑤ Alpinia officinarum



- 問(51)原植物が有毒植物ではなく野菜としても利用できる生薬はどれか。
- ① イレイセン
- ② サイシン
- ③ ウイキョウ
- ④ ベラドンナコン
- ⑤ ロートコン
- 問(52) CARTHAMI FLOS に関する記載で正しいものはどれか。
- ① 種子にはオメガ3脂肪酸が多く含まれ、薬用にされる。
- ② エジプト原産で、染料植物でもある。
- ③ 原植物は万葉集にも詠まれるキンポウゲ科の植物である。
- ④ 原植物はシソ科の植物で、茎は四角い。
- ⑤ 薬用部以外は有毒であり、注意が必要である。
- 間(53) ビンロウジに関する記載で間違っているものはどれか。
- ① 熱帯地方由来の薬物で、漢方処方には配合されない。
- ② 主成分としてアルカロイドやタンニンを含む。
- ③ 原植物は Palmae に属する。
- ④ 東南アジアなどでは石灰とともに咀嚼する習慣がある。
- ⑤ 薬用部位は種子で、果皮は別生薬として利用される。
- 問(54)麻黄に関する記載で正しいものはどれか。
- ① 一般に採集して間もない新鮮なものが良いとされる。
- ② 建中湯類に配合されることが多い。
- ③ 日本薬局方では原植物として同属の3種が収載される。
- ④ 原植物の仲間は約50種が知られるが、新大陸には分布しない。
- ⑤ 喘息患者への投与は禁忌である。

- 問(55)口にした時、唾液を黄色に染めない生薬はどれか。
- ① 黄連
- ② 黄柏
- ③ 大黄
- ④ 鬱金
- ⑤ 黄芩
- 問(56)水で湿らすことにより互いの鑑別がより確実になる生薬の組み合わせはどれか。
- ① 黄連末/黄柏末
- ② 黄連末/大黄末
- ③ 鬱金末/大黄末
- ④ センナ末/センブリ末
- ⑤ ブクリョウ末/チョレイ末
- 問(57)アルカロイドを多く含み、有毒植物が多い科(Family)はどれか。
- (1) Ranunculaceae
- 2 Compositae
- ③ Rosaceae
- 4 Umbelliferae
- (5) Liliaceae
- 間(58) 日局の製剤総則の条文で、間違っているものはどれか。
- ① 浸剤及び煎剤は、いずれも生薬を、通例、常水で浸出して製した液状の製剤である。
- ② チンキ剤は、通例、生薬をエタノール又はエタノールと精製水の混液で浸出して製した液状の製剤である。
- ③ エキス剤は、生薬の浸出液を濃縮して製したもので、通例、軟エキス剤と硬エキス剤がある。
- ④ 芳香水剤は、精油又は揮発性物質を飽和させた、澄明な液状の製剤である。
- ⑤ 茶剤は、通例、生薬を粗末から粗切の大きさとし、一日量又は一回量を紙又は布の袋に充塡した製剤である。
- 問(59) 甘みが強い生薬はどれか。
- ① トラガント
- ② レンニク
- ③ ボウコン
- ④ リュウガンニク
- ⑤ コンズランゴ

- 問(60)長期間服用することによって「腸間膜静脈硬化症」を起こす可能性があると注意が喚起されている生薬はどれか。
- ① 石膏
- ② 山梔子
- ③ 芒硝
- ④ 黄芩
- ⑤ 当帰
- 問(61) 異物同名品を含め、重篤な腎障害を起こすアリストロキア酸の含有に注意する必要が無い生薬はどれか。
- ① 木香
- ② 木通
- ③ 防已
- ④ 半夏
- ⑤ 細辛
- 問(62)トウモロコシに関する記載で正しいものはどれか。
- ① デンプンが日局に医薬品として収載される。
- ② 髭(雌蕊)が日局に医薬品として収載される。
- ③ 髭根が日局に医薬品として収載される。
- ④ 種子デンプンがコウイの製造に利用される。
- ⑤ 精油が日局に医薬品として収載される。
- 問(63)右図に示す薬用植物の撮影時期はいつか
- ① 春
- ② 夏
- ③ 秋
- ④ 冬
- ⑤ いずれとも言えない

- 問(64)右図に示す薬用植物の撮影時期はいつか。
- ① 春
- ② 夏
- ③ 秋
- ④ 冬
- ⑤ いずれとも言えない



- 問(65) 国内需要の100%を日本産で供給されている生薬はどれか。 ① ゲンノショウコ ② 当帰
- ③ 山椒
- ④ センブリ
- ⑤ 桜皮
- 問(66) サイコの原植物はどれか
- ① ホタルサイコ
- ② ミシマサイコ
- ③ カワラサイコ
- ④ スズサイコ
- ⑤ オオホタルサイコ
- 問(67)現在、国内で栽培生産されていない生薬はどれか。
- ① 柴胡
- ② 連翹
- ③ 川芎
- ④ 地黄
- ⑤ 呉茱萸
- 問(68) 舐めた際に下に吸い付く感じがする生薬はどれか。
- ① PORIA
- ② OSTREAE TESTA
- ③ GIPSUM FIBROSUM
- **4** DIGENEA
- **⑤** FOSSILIA OSSIS MASTODI
- 間(69)盛夏の頃には原植物の地上部が見られない生薬はどれか。
- 夏枯草
- ② 知母
- ③ 遠志
- ④ 延胡索
- ⑤ 天麻
- 問(70) 庭に植えられて誤食による中毒例が多い有毒植物は何か
- ① スイセン
- ② ヤマゴボウ
- ③ トリカブト
- ④ キョウチクトウ
- ⑤ ハシリドコロ

- 問(71) 五苓散に関する説明で正しいものはどれか。
- ① 苓がつく生薬5種類が配合されている。
- ② 苓がつく生薬 4 種類が配合されている。
- ③ 苓がつく生薬3種類が配合されている。
- ④ 胃内停水を改善する半夏が処方されている。
- ⑤ 配合量が最も多い生薬は沢瀉である。
- 間(72) 葛根湯に配合されていない生薬はどれか。
- ① 桂皮
- ② 甘草
- ③ 人参
- ④ 麻黄
- ⑤ 芍薬
- 間(73) 八味地黄丸に関連する記載で、間違っているものはどれか。
- ① 別名を牛車腎気丸ともいう。
- ② 六味地黄丸には附子が配合されていない。
- ③ 利水剤としてブクリョウやタクシャが配合されている。
- ④ 小便過多にも小便不利にも応用できる。
- ⑤ 臍下不仁は重要な診断基準のひとつである。
- 問(74)小柴胡湯と大柴胡湯に共通している生薬の組み合わせで正しいものはどれか。
- ① 柴胡·半夏·黄芩·大棗·甘草
- ② 柴胡・半夏・黄芩・大棗・生姜
- ③ 柴胡・半夏・黄芩・芍薬・生姜
- ④ 柴胡・黄芩・大棗・芍薬・甘草
- ⑤ 柴胡・黄芩・芍薬・生姜・甘草
- 問(75)次の漢方処方の中で煎じ液の濁りが最も著しいものはどれか。
- ① 大黄甘草湯
- ② 芍薬甘草湯
- ③ 五苓散料
- ④ 麻黄湯
- ⑤ 三黄瀉心湯
- 問(76)次に示す漢方薬の中で補剤に相当するものはどれか。
- ① 真武湯
- ② 葛根湯
- ③ 防風通聖散
- ④ 小青龍湯
- ⑤ 麻黄湯

- 問(77)次に示す漢方薬の中で婦人科疾患に応用される機会が多い処方はどれか。
- ① 小柴胡湯
- ② 桂枝茯苓丸
- ③ 大柴胡湯
- ④ 大黄甘草湯
- ⑤ 芍薬甘草湯
- 問(78) 三品分類について正しい記載はどれか。
- ① 本草綱目で初めて採用された。
- ② 大和本草で初めて採用された。
- ③ 薬理作用の強弱で分類した。
- ④ 概ね使用頻度で分類した。
- ⑤ 名医別録で初めて採用された。
- 問(79)明代の李時珍が著した本草書名は何か。
- ① 本草綱目啓蒙
- ② 本草綱目
- ③ 本草原始
- ④ 本草啓蒙
- ⑤ 名医別録
- 問(80)右に示す『図経本草』に描かれた図の原植物は何か。
- ① Pueraria robata
- ② Vitis sp.
- ③ Piper longum
- ④ Dioscorea sp.
- (5) Schizandra chinensis

